



ジャガー・ルクルト、新アンバサダーにアニャ・テイラー=ジョイが就任。

ジャガー・ルクルトは、アニャ・テイラー=ジョイを新アンバサダーに任命しました。そのデビューを飾る短編動画『A Call of the Heart』は、彼女をメゾンへ迎え入れる象徴的な電話でのやりとりに基づいています。

この動画は、マニュファクチュール ジャガー・ルクルトに大きな影響を与えることになった、歴史的な電話でのやりとりからインスピレーションを得たものです。1903年、ジャック・ダヴィド・ルクルトは、パリの時計職人エドモンド・ジャガーに電話をかけ、時計の超薄型ムーブメント制作を承諾しました。それ以来、ジャガー・ルクルトの企業設立へと導く、長く実り多き共同制作が始まりました。

「アニャとの出会いは運命でした。ポロに関する彼女の家族の長い歴史や時計製造への興味から、私たちは自然なパートナーシップを築くことができました」と、ジャガー・ルクルト CEO、カトリーヌ・レニエは述べます。「その優美な美しさ、繊細さ、才能、勤勉な倫理観で、彼女はメゾンの価値観とスタイルを体現しています」

同世代でも大きな注目を集める人物の一人として知られるアニャ・テイラー=ジョイは、現代の女性らしさを体現する存在です。スクリーン上での彼女は、空想的でありながら情熱的な存在感を放ち、恐れ知らずで傷つきやすく、無邪気であり危険であるなど、その存在は変化に富んでいます。

イギリス系アルゼンチン人の両親のもと、マイアミで生まれ、ブエノスアイレスとロンドンで育った26歳の女優は、2016年にロバート・エガース監督の『ウィッチ』で圧倒的な演技を見せ、絶賛を浴びました。その後の役でも引き続き高い評価を得て、2020年、Netflixのヒット作品『クイーンズ・ギャンビット』で一躍スターダムにのし上がった彼女は、ベス・ハーモン役の魅力的な演技により、ゴールデングローブ賞、全米映画俳優組合賞、放送映画批評家協会賞を受賞しました。その後も、エドガー・ライト監督の『ラストナイト・イン・ソーホー』、ロバート・エガース監督の『ザ・ノースマン』で主役を演じ、今後はデヴィッド・O・ラッセル監督の『アムステルダム』でクリスチャン・ベールやマーゴット・ロビーと、またマーク・マイロッド監督のホラーコメディ『ザ・メニュー』ではレイフ・ファインズやニコラス・ホルトと共演予定です。アニャは現在、『マッドマックス』の前日譚映画である『フュリオサ』を撮影中です。



ジャガー・ルクルト : HOME OF FINE WATCHMAKING SINCE 1833

ジュウ渓谷の静寂な地にジャガー・ルクルト マニュファクチュールを置くことが、その場所への特別な帰属意識を高めています。まさにこの地こそ、ジュラ山脈の壮大な景色に着想を得ながら、革新性と創造性への抑えきれない渴望に導かれ、ジャガー・ルクルトの精神が生まれる場所です。マニュファクチュールのひとつ屋根の下、時計職人、時計技師、デザイナー、装飾工芸の名手のあらゆる技術が一体となり、技術の独創性に、デザインの美しさと際立つ装飾を避けた洗練された姿を組み合わせ、時計に息吹を吹き込みます。ウォッチメーカーの中のウォッチメーカーとして知られるマニュファクチュールは、1833年以來、1,300を超えるキャリバーの制作を通して、その絶え間ない革新の精神を表現してきました。そして、この精神によって誕生したのが、1931年のレベルソです。アールデコ調のなめらかなラインと特徴的なリバーシブルケースを持つレベルソは、20世紀のデザインのクラシックとなり、現在でも時代に左右されない現代性の象徴として、一目でそれと分かる時計の1つであり続けています。

jaeger-lecoultre.com